

11002鋳物業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2019	1	3 ～ 4	仕上げ塗装ラインで作業中、後方から進入してきたフォークリフトの右後輪に左足を巻き込み骨折した。	34	7	222	100 ～ 299
2	2019	1	23 ～ 24	ブリケットマシンプレス機が空打ちしていたため、電源を切って上側のホッパー異物除去ローラーに手を入れた際、別の作業者がそれに気付かず設備を作動させたため、右手がローラーに巻き込まれて四指を骨折した。	41	7	169	300 ～ 499
3	2019	1	13 ～ 14	工場内で砂入れをした金枠をクレーンで引き上げる作業で、ワイヤーの吊り金枠を反転させた。その際にその吊り具が外れて落下し左足の甲辺りを打ち負傷した。	37	4	372	10～ 29
4	2019	1	10 ～ 11	鋳型搬送装置で空送り作業（自動）を行っていたが、ミーティング時間になり戻ってきたら、台車がレールから外れアラームが点灯していたので、復帰作業を行ったら、突然台車が動き出し台車とプッシャの間に右足を挟まれ、右足首を負傷した。	47	7	229	50～ 99
5	2019	1	10 ～ 11	工場の型ばらし場にて、砂型から取り出した鋳物製品を返すために、チェーンスリングで吊り起こしたら立ってしまい緩めすぎてフックが外れかけたのでフックを掛け直すことに集中してしまい、鋳物が倒れてきたことへの対応が遅れて右足部を打撲骨折した。	49	6	211	30～ 49
6	2019	1	16 ～	造型場で鋳込作業中、型に流し入れようと溶湯（約1400℃）の入った取鍋のハンドルを回したところ、取鍋の流口近くで溶湯が	20	11	341	10～

			17	少しはねて微量ながら肩口から作業着の中に入り、左手、脇腹を火傷した。				29
7	2019	2	17 ～ 18	工場内にて造型機で作業中、装置が動作不具合を起こした。被災者が稼働させたまま造型機の上部（高さ約2.5m）にはしご段で上がって確認した際、造型機に足を乗せてしまったため、動いたプレートに右足を挟まれ負傷した。	23	7	169	50～ 99
8	2019	2	16 ～ 17	作業後、下に下りようとした際に、足下のレール上で左足を滑らせて転倒し、左足の膝横外側を打ち受傷した。	42	2	418	10～ 29
9	2019	2	14 ～ 15	空の金枠を順次リフターで持ち上げて、造型機にエアースリンダーで押し出している箇所で、リフターを持ち上げて次を押し出す間に、金枠に付いた湯漏れの塊を除去しようとして、右手を挟まれた。右手首が潰れ、上腕部と肩を骨折し、脇腹を負傷した。	42	7	159	50～ 99
10	2019	2	17 ～ 18	工場仕上げラインにて、クレーンの配線コンセントが外れており、パレットに上り配線を接続し、下りる際、足を踏み外し、腰から落下（高さ1.3m）して負傷した。	56	1	379	10～ 29
11	2019	2	16 ～ 17	工場内で仕上げ作業中、スーパーブラスト機が故障し確認するため通路を歩いていたところ、通常金網で蓋をしている溝の蓋が外されているのに気付かず転落し、右腰を骨折し、左足を負傷し、全身打撲を負った。	64	1	417	30～ 49
12	2019	2	9 ～ 10	製品をクレーンで移動させ降ろした際、製品が左足の甲に滑ってきて骨折した。	57	6	521	50～ 99
13	2019	3	9 ～ 10	工場内の芯取り・ばらし作業場で、三角形のバランスの悪い芯を横に移動する際にバランスを崩して手をひねり、右肘を骨折した。	65	19	521	30～ 49
			14	溶解した鉄を型へ運ぶ際につまずいて転倒し、安全靴の中に高温				

14	2019	3	～ 15	の鉄が入り、右足に熱傷を負った。	40	11	521	1～9
15	2019	3	8 ～ 9	高周波グラインダーで印刷鋳物部分の接続部分を切断しているときに、接続部分約7kgの破片が飛んできて左膝を負傷した。	56	4	521	10～ 29
16	2019	3	23 ～ 24	鋳造された製品をバック内部からレールシステム式ホイストで胸の高さまで吊り上げ、ハンマリングして処理ラインに積み込む作業を行っていて、製品を吊り上げようと前かがみになったとき、腰に痛みを感じ、急性腰痛症を負った。	41	19	921	300 ～ 499
17	2019	4	13 ～ 14	自動車用ボディプレス金型（鋳物製品）の仕上げ中、床上操作式クレーンを使用して自動車用ボディプレス金型を移動していた。その際、クレーンにぶつかった衝撃で、隣で作業をしていた被災者が吊り上げていた金型と金型の間に挟まれ、骨盤部を負傷した。	50	3	211	100 ～ 299
18	2019	4	14 ～ 15	工場内で金型（100kg位）を台車で移動中に転倒し、横にあったパレットに右手親指を挟み骨折した。	52	7	362	10～ 29
19	2019	4	4 ～ 5	塑性加工工場内のオーバーフローレーンにて、奥の製品を引き出すため、オーバーフローレーン下のローラーの上を歩いた際に滑って転倒し、腰部と頭部を打った。ヘルメットを被っていたため、外傷はなく痛みも少なかったが目まいを起こした。	42	2	418	1000 ～ 9999
20	2019	4	11 ～ 12	造型工場作業場で、鋳物型製作中に、天井クレーンで中子型を吊り上げ、主型へ納める作業を行っていた際、中子型を吊り上げ移動させたときに、左足付近を中子型と鉄製枠との間に挟み左足を骨折した。	44	7	211	50～ 99
21	2019	4	12 ～ 13	工場内にて、角氷の側面を縦型の円筒形に刃物の付いた回転体で平らに削る装置の調整作業中、刃物の近くに手を出してしまい、回転していた刃物に当たり、左手指の切創を負った。	38	8	169	—

22	2019	4	9 ～ 10	工場内で鋳物製品の仕上げ作業後（バリ取り）、床にあったグラインダーの電気コードに左足先を引っ掛け転倒、左膝を負傷した。	39	2	153	10～ 29
23	2019	4	10 ～ 11	高周波の投入口に引っ掛かったスクラップを、足で蹴り入れたとき、尖ったスクラップが靴底を貫通し、右足裏を負傷した。	35	3	521	50～ 99
24	2019	5	14 ～ 15	鋳型表面に塗る塗型剤に使用するアルコールの容器の上に転倒して、作業服にアルコールが付着したが着替えずに作業を行った。塗型乾燥作業のとき、使用したライターの火が誤って作業服に引火し、胸と手に火傷を負った。	69	11	512	10～ 29
25	2019	5	11 ～ 12	工場内で製品（シープ）を4枚まとめてクレーンで吊り上げ、台車に積み替えていたとき、製品の間で左手中指を挟み負傷した。	50	7	211	1～9
26	2019	5	11 ～ 12	作業場で、定盤（ベニヤ板）上に角材2つを置き、その上に金枠を載せてローラー上を押して運ぶ際、角材の1つが倒れたため、金枠の手持ち部分と定盤の間に右手を挟まれ、右手薬指を負傷した。	36	7	521	10～ 29
27	2019	5	16 ～ 17	工場内で両手に鋳物（約2kg）を持ちながら階段を下りる際、左足が着地したときひねって負傷した。	44	3	413	10～ 29
28	2019	5	22 ～ 23	鋳物素材のサンダーによる研削作業で、オイルパン面が上の状態から倒す作業を行った際、体に当たると思い咄嗟に手が下に入り、左手小指第1関節を負傷し、関節変形症を負った。	61	7	521	10～ 29
29	2019	5	15 ～ 16	塗り型乾燥後、プレートを返却する際、プレートに左腕が当たり、左腕に火傷を負った。	23	11	379	10～ 29
30	2019	6	16 ～	工場内仕上げ作業場で、製品（鋳物）をグラインダーで切削していたとき、グラインダーの刃が左膝部に当たり創傷を負った。	39	8	153	30～ 49

			17						
31	2019	6	10 ～ 11	工場内の電気溶解炉の前でステンレス溶解鑄込み作業をしていたとき、湯が溶け切ったところで炉内部で爆発が起き、溶湯が飛び散って頭部こめかみ左右、右足の甲に火傷を負った。	47	14	341	10～ 29	
32	2019	6	10 ～ 11	工場内の電気溶解炉の前でステンレス溶解鑄込み作業をしていたとき、湯が溶け切ったところで炉内部で爆発が起き、溶湯が飛び散って背中と左肩と腰に火傷を負った。	35	14	341	10～ 29	
33	2019	6	10 ～ 11	工場内の電気溶解炉の前でステンレス溶解鑄込み作業をしていたとき、湯が溶け切ったところで炉内部で爆発が起き、溶湯が飛び散って背中と右足太腿、右足裏に火傷を負った。	32	14	341	10～ 29	
34	2019	6	8 ～ 9	工場内で作業中、機械上方から異音がしたので機械に上がって確認していた。その際、モータのチェーンに皮手袋が引っ掛かり、右手人差し指と中指を挟まれて負傷した。	49	7	169	30～ 49	
35	2019	6	12 ～ 13	注湯作業中、鑄型、湯漏れが発生したため、注湯者を止めようとハンドルをロックせずに手を離れたところ、ハンドルが廻りだし固定しようとしたとき、溶湯が右足に掛かり火傷した。	46	11	521	1～9	
36	2019	6	17 ～ 18	鑄造工場溶解場にて、取鍋（電気炉で溶かした鉄を砂型へ運ぶ容器）を電気炉上で傾けた際、支え切れず取鍋が回転し、鉄が流れてしまい、はみ出した鉄が地面で跳ねた。その際、湯球が作業服（ズボン）を貫通し、安全靴の中に入り、両足・両膝の熱傷を負った。	28	11	521	10～ 29	
37	2019	6	17 ～ 18	鑄造工場溶解場にて、取鍋（電気炉で溶かした鉄を砂型へ運ぶ容器）を電気炉上で傾けた際、支え切れず取鍋が回転し、鉄が流れてしまい、はみ出した鉄が地面で跳ねた。その際、湯球が作業服（ズボン）を貫通し、安全靴の中に入り、右足に熱傷を負った。	37	11	521	10～ 29	
			17	鑄造工場溶解場にて、取鍋（電気炉で溶かした鉄を砂型へ運ぶ容器）を電気炉上で傾けた際、支え切れず取鍋が回転し、鉄が流れ				10～	

54	2019	8	9 ～ 10	プレスで作業中、製品に反りがあったので元の位置に戻そうとしてプレスをしたところ、下に敷いてた板が滑って顔に当たり鼻を骨折した。	45	4	154	10～ 29
55	2019	8	14 ～ 15	会社工場内にて、天井クレーンで吊荷作業中、砂の入った金枠（約70cm×70cm×60cm、100kg）を起こす際、金枠のテングにワイヤーをかけ違い、ワイヤーが外れて、金枠が右足甲に落下し骨折した。	39	4	211	10～ 29
56	2019	8	11 ～ 12	鋳仕上げ工場で、製品を寸法公差におさめるため、金属製のコマを製品とジャッキヘッドの間に入れプレス操作を行っていたとき、加圧した際に挟んでいたコマがはじけ飛び、左手に当たり受傷した。	62	6	521	500 ～ 999
57	2019	8	9 ～ 10	当社工場内で、鋳物製品をショットブラスト機にかけ、研磨作業を終えた。製品を取り出す際、扉が閉まってきて、扉と製品の間に左手を挟み負傷した。	43	7	159	10～ 29
58	2019	8	11 ～ 12	工場内で製品を研磨機へ運ぶ途中、鉄板につまづき転倒しそうになった。その際に右足で踏ん張ったところ、製品を入れている鉄箱の角に右膝をぶつけて骨折した。	56	2	611	1～9
59	2019	8	14 ～ 15	サンドミルの底板の交換作業中、ボルトを緩め、開いた排出口から頭を出し、他の作業者が排出口を閉めた際、ヘルメットごと頭を挟み、負傷した。	43	7	162	10～ 29
60	2019	9	7 ～ 8	自社工場内ノズルショット場で作業中、リモコン操作式の天井クレーンを使って製品を吊り、ノズルショット機に運ぼうとした。そのとき、誤って製品を右手の上に落とし、薬指を骨折した。	33	4	372	100 ～ 299
61	2019	9	16 ～ 17	工場内荷降ろし場にて、トラックに積んだ製品に看板を付けてトラックから降りる際、ステップに足を掛けようとしたところ足が滑り、落下して左肘を骨折した。	42	1	221	50～ 99
			9	鋳込み場で取鍋に入っている溶湯の温度を測定していた際、他の				

62	2019	9	～ 10	作業者が取鍋の位置を修正したとき、取鍋が金枠に当たって溶湯が飛び出した。その際、溶湯が被災者の右足に掛かり熱傷を負った。	23	11	341	50～ 99
63	2019	9	～ 20	グラインダーを使い製品の仕上げ作業中、手が滑りグラインダーで右手人差し指を負傷した。	51	8	153	1～9
64	2019	9	～ 14	工場内の鋳型パレットラインのパレットが、機械内で引っ掛かり動かなくなったため、内部にもぐり引っ掛かっているパレットを手で引き出そうとしたところ、自動のまま作業を行い、何らかの形でリミッターに接触しパレットが上部に動き出し、体を挟まれ胸腹部を負傷した。	26	7	169	10～ 29
65	2019	9	～ 17	鋳物工場内にて、溶解作業中に電気炉の蓋を閉める際、左足を伸ばしたため負傷した。	59	19	341	30～ 49
66	2019	9	～ 17	鋳物工場で砂処理設備回収タンクバケットエレベーターのメンテナンス作業中、カバー外側にある給油口が内側にあると思い込み、右手をカバー内側へ入れたところ、ベルトスリップセンサーとステイ間に親指を挟んで負傷した。	47	7	169	100～ 299
67	2019	9	～ 15	工場内で造型作業中、自動造型機のエラー表示が出たため一時停止し手動でモードリフターを動かそうとしたところ、動かないため一時停止および手動解除して、金具でモードリフターを叩いた。その際、モードリフターが下降し、上部モードリフターに作業着袖が引っ掛かり、右腕と左手親指をモードリフターの間に挟み負傷し、左手親指を骨折した。	44	7	169	30～ 49
68	2019	9	～ 17	工場内にて、旋盤作業中、旋盤を止めオフコップを緩め止水栓管の蓋を合わせるため、オフコップと止水栓管に指を挟み、左手人差し指を骨折した。	63	7	151	1～9
				工場内でゴム手袋着用、左手で作動スイッチのボタンを押すと、				

69	2019	10	9 ～ 10	測定用ボルトが右回転し、右手でナットを押さえ差し込むと奥へナットが移動し、ボタンを放すと手前に移動し外れ測定が終了する作業中、奥へ押しすぎて、ナットが供回りし巻き込まれ、小指を負傷した。	52	6	169	100 ～ 299
70	2019	10	13 ～ 14	工場内の出荷場で作業場内に立て掛けてあった重量約440kg、直径1165mmのドーナツ盤の鋳物素材をプラスト作業のためクレーンで移動しようとしていた。ドーナツ状の円盤の中心穴にフック状の吊具を掛けて吊り上げようとしたところ、フックの掛かりが甘いことに気付き、フックの掛かりを修正しようとした。この際、円盤状の素材が足下から被災者側に滑り、倒れ込んできたため、被災者もその勢いに押され倒れ、円盤に接触し、両足を打撲し、右足脛に裂傷を負い、右手親指先端を切断した。	64	7	372	10～ 29
71	2019	10	15 ～ 16	仕上げ場にて切削作業中、作業台上の製品を動かそうとした際、勢い余って落として右足に当たり、足首を骨折した。	58	4	521	30～ 49
72	2019	10	8 ～ 9	製品検査作業場にて、ラッコリフターの下スイッチを足で踏み続けてしまい、想定以上にラッコリフターが傾いてしまい、中の製品が荷崩れして右手の上に落下して、右手環指を負傷した。	26	4	169	50～ 99
73	2019	10	5 ～ 6	工場にて、5t電気炉取鍋を台車上へ移動後、台車上で湯漏れに気がつき、慌ててクレーン操作者に連絡するため安全通路を移動した際、左頬・左足脛・ふくらはぎ・右足膝・右足脛を火傷した。	34	11	341	100 ～ 299
74	2019	10	14 ～ 15	鋳物仕上工のグラインダー作業中、製品からグラインダーが弾かれて右膝に切傷を負った。	42	8	153	10～ 29
75	2019	11	16 ～	工場電気炉フロアで、スターティングブロックに溶湯を注ぎ、ブロックを引き抜くときに必要なバールをスターティングブロック内に挿入した。そのとき、バールが溶け込むことを危惧し、徐冷材を投入した直後、水蒸気爆発が起きて溶湯が周囲に飛散し、被	23	14	521	100 ～

			17	災者の上半身に掛かった。その際、保護服を着用していなかった ので、首・胸・腕に熱傷を負った。					299
76	2019	11	11 ～ 12	搭乗式スニーカーに乗って通路を掃除していたとき、スニーカー が柱の基礎コンクリート部分に追突した。その反動で前のめりにな り、ハンドルに添えていた左手人差し指に体重が掛かり骨折し た。	60	3	229		50～ 99
77	2019	11	5 ～ 6	工場内、鋳込み場にて、高周波炉からステンレス材質をクレーン で吊った取鍋に出鍋し鋳込み作業を行っていた際、鋳型の上を取 り付けていたポールカップを外そうとしたところ、湯がはじいて 湯玉が上着のポケットに入り、作業着に火がついて右腕と右脇下 部に火傷を負った。	22	11	521		100 ～ 299
78	2019	11	14 ～ 15	工場内の8尺旋盤に製品（重さ200kg）をチャッキングした後、落 下防止用の吊り込み作業を行っていた際、製品がファスナーから 外れ、落下した製品と機械の間に右手を挟んで人差し指・中指・ 薬指を負傷した。	66	4	521		100 ～ 299
79	2019	11	9 ～ 10	会社3階の枠置き場にて清掃作業をしているときに、壁側に立て掛 けていた金枠が滑り、足下に置いていた金枠との間に左足甲、左 足首を挟んで打撲した。	43	6	521		10～ 29
80	2019	11	13 ～ 14	工場内の製造現場にて、木型の修正作業中、2mmのベニヤ板を取る 際、ベニヤ4枚が倒れ、重さに耐えきれず挟んだ左手薬指をひね り、骨折した。	52	5	522		100 ～ 299
81	2019	11	8 ～ 9	電気炉の溶解作業場で、溶湯を入れた取鍋を軸クレーンで吊し、 湯を炉に戻すために炉付近で鍋を傾転させていたところ、炉から の熱気で作業ズボンが焼け、両足内腿に火傷を負った。	48	11	211		30～ 49
82	2019	12	17 ～ 18	派遣先事業所敷地内の駐車場で、自家用車の助手席に荷物を積 み、車両の前方から運転席へ回ろうとしたとき、段差（20cm程 度）を踏み外して左足を骨折した。	57	19	417		10～ 29

83	2019	12	15 ～ 16	鑄造品（約100kg）を金型から道具を使い引き抜いたとき、腰部に激痛が走り挫傷を負った。	37	19	921	100 ～ 299
84	2019	12	9 ～ 10	砂処理設備の地下にあるベルトコンベアー周辺の清掃作業中、鑄物砂を回収するためベルトコンベアーを稼働させて砂をコンベアー上に載せていたところ、砂がこぼれてコンベアーとローラーの間に入り、コンベアーが蛇行し始めた。そのため砂をかき出そうと右手を入れた際、ベルトコンベアーとローラーに巻き込まれて腕を切断した。	26	7	224	50～ 99
85	2019	12	9 ～ 10	工場にて、荷物（160kg）を台車に載せ運搬中、台車を引く際、台車（計200kg）が重くバランスを崩し、台車が横に倒れ、尻もちをつき、臀部から背骨を強打した。その際、腰椎を骨折した。	54	2	361	100 ～ 299
86	2019	12	10 ～ 11	型に内容物を流し入れるために33.3kgの砂袋を持ち上げた際、腰に急激な痛みがあり腰椎椎間板ヘルニアを負った。	31	19	611	1～9
87	2019	12	8 ～ 9	シェイクアウトマシンのコンベアーが動かないため地下ピット内を確認した際、Vベルトが切れていたため外そうとしたところ、電源を切り忘れていたため、右手小指を回転部に挟み切断した。	52	7	224	10～ 29
88	2019	12	10 ～ 11	湯がいのときに、湯がこぼれ跳ねたため、足下に飛び火傷を負った。	79	11	521	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。